

「STUDY GUIDE 2017」 変更部分について

※ 「STUDY GUIDE」は入学年次のための配布のため、記載内容に変更があった部分のみ、この冊子にまとめて掲載しています。

教務課

2019年 4 月 1 日

【本冊子について】

- ◎ 本冊子では、2017 年度入学の学生に対して、すでに配布されている『STUDY GUIDE 2017』に記載されている事項について、変更があった部分をまとめたものです。
- ◎ 『STUDY GUIDE』同様に、重要なものですので、必ず内容を確認し、必要な部分については『STUDY GUIDE』とともに保存しておいてください。

【注意事項】

- ※ この冊子は主に「授業」「資格取得」に関する変更を掲載しています。なお、「資格・検定」「副専攻」の変更部分については、この冊子には掲載されていないので、最新版の『STUDY GUIDE』を大学HPより参照してください。また、その他の項目についても同様に最新版の『STUDY GUIDE』を参照してください。最新版の『STUDY GUIDE』は教務課カウンターにも備え付けています。
- ※ 『STUDY GUIDE』に記載されている内容、およびこの冊子に記載されている変更点は、履修登録や資格取得、卒業に関わる大変重要なものですので、漏れなく確認してください。

2019年度より変更があった部分

【運用ルールを変更する事項】

【運用ルールを変更する事項】STUDY GUIDE 2019年度からの変更点一覧 ※学部規程・学科履修細則改正に伴う変更(科目追加等)については別に案内します。

STUDY GUIDE記載頁 ※			事項	2019年度以降の運用																																			
2016	2017	2018																																					
			全般的事項	「学内掲示板に掲示」と記載されている場合は、「追大Webシステムによる掲示配信」と読み替えてください。 地域創造学部・国際教養学部の学生については「教務課」「学生課」を「総合オフィス」と読み替えてください。 総持寺キャンパスの各種取扱窓口や問い合わせ先は、追大Webシステムによる掲示配信を確認してください。																																			
p.30	p.34	p.38	卒業者発表	学内掲示板による掲示は行いません。代わりに追大Webシステムによる発表を行います。																																			
p.36	p.40	p.44	掲示板	総持寺キャンパスには掲示板はありません。大学からの連絡は追大Webシステムから行います。																																			
p.38	p.42	p.46	研究室	専任教員の研究室は、すべて安威キャンパスにあります。																																			
p.38	p.42	p.46	オフィスアワー	安威キャンパスで設定される場合と総持寺キャンパスで設定される場合があります。 安威キャンパスでは研究室、総持寺キャンパスではWILL Studioでの対応となります。 詳細は追大Webシステムで確認してください。																																			
p.40	p.44	p.48	休講通知	学内掲示板による掲示は行いません。追大Webシステムによる掲示配信を行います。																																			
p.41	p.45	p.49	補講	学内掲示板による掲示は行いません。追大Webシステムによる掲示配信を行います。																																			
p.41	p.45	p.49	土曜補講	土曜日の補講は総持寺キャンパスでの実施となります。安威キャンパス開講科目であっても、土曜日に補講を行う場合は、総持寺キャンパスで実施しますので注意してください。																																			
p.60	p.64	p.66	授業時間・昼休み	総持寺キャンパスは1限の開始が9:00となります。1限・2限・昼休み・3限については、安威キャンパスと総持寺キャンパスで開始・終了時間が異なりますので注意してください。また、土曜日の4限・5限の授業(総持寺キャンパスのみ)については、平日と異なった時間となりますので注意してください。 授業時間は、追大Webシステムによる掲示配信を確認してください。																																			
p.61	p.65	p.67	教室変更	学内掲示板による掲示は行いません。追大Webシステムによる掲示配信を行います。																																			
p.131	p.133	p.131	定期試験時間割発表	「試験時間割表」の配布や学内掲示板による掲示は行いません。追大Webシステムによる掲示配信を行います。																																			
p.131	p.133	p.131	定期試験時間	定期試験の開始・終了時間を変更します。安威キャンパス、総持寺キャンパスとも同じ試験時間で実施します。 <table><tr><td></td><td></td><td>1限</td><td>2限</td><td>3限</td><td>4限</td><td>5限</td></tr><tr><td>受験室入室</td><td>開始10分前</td><td>9:20</td><td>10:50</td><td>12:40</td><td>14:20</td><td>15:50</td></tr><tr><td>学生証確認</td><td>開始5分前</td><td>9:25</td><td>10:55</td><td>12:45</td><td>14:25</td><td>15:55</td></tr><tr><td colspan="2">試験開始</td><td>9:30</td><td>11:00</td><td>12:50</td><td>14:30</td><td>16:00</td></tr><tr><td colspan="2">試験終了</td><td>10:30</td><td>12:00</td><td>13:50</td><td>15:30</td><td>17:00</td></tr></table>			1限	2限	3限	4限	5限	受験室入室	開始10分前	9:20	10:50	12:40	14:20	15:50	学生証確認	開始5分前	9:25	10:55	12:45	14:25	15:55	試験開始		9:30	11:00	12:50	14:30	16:00	試験終了		10:30	12:00	13:50	15:30	17:00
		1限	2限	3限	4限	5限																																	
受験室入室	開始10分前	9:20	10:50	12:40	14:20	15:50																																	
学生証確認	開始5分前	9:25	10:55	12:45	14:25	15:55																																	
試験開始		9:30	11:00	12:50	14:30	16:00																																	
試験終了		10:30	12:00	13:50	15:30	17:00																																	
p.132	p.134	p.132	試験室への時計持込	腕時計は外して学生証の横に置くことを条件に持ち込みを認めます(ただし計算・翻訳・通信機能付時計は不可)。																																			
p.132	p.134	p.132	受験許可書	「1回限り」という制限をなくし、申請があれば何度でも発行可とします(1回1,000円の手数料は従来どおり)。																																			
p.133	p.135	p.133	追試験	追試験は総持寺キャンパスでの実施となります。安威キャンパス開講科目であっても、追試験を受験する場合は、総持寺キャンパスで行いますので注意してください。																																			
p.135 p.136	p.137 p.138	p.135 p.136	定期試験に代わるレポート	定期試験に代わるレポートの提出内容はWebClassにて配信、WebClassでの提出となります。 学内掲示板による掲示や教務課「レポート提出ボックス」での受付は行いません																																			
p.137	p.139	p.137	授業内試験・レポート	学内掲示板による掲示は行いません。各担当教員の指示に従ってください。																																			

※2015年度以前の入学生については、自身の「履修要項」や「STUDY GUIDE」を確認の上、各該当箇所の2019年度以降の運用を確認してください。

授業・科目一覽

「基盤教育科目」

【基盤教育科目】

I 基礎科目群

A. 初年次科目

(略)

(1) A. 初年次科目の追加（網掛け部分）

科目	単位数	配当年次
(略)	(略)	(略)
入門コンピュータ 2	2	1 年次以上
コンピュータ入門	2	1 年次以上
教養ゼミ 1	2	1 年次以上
(略)	(略)	(略)

※「入門コンピュータ 1」または「入門コンピュータ 2」を修得した場合、「コンピュータ入門」を履修することはできない。

(2) C. 外国語科目（ドイツ語）の追加（網掛け部分）

科目	配当年次	科目	配当年次
ドイツ語読解入門	1 年次以上	ドイツ語読解中級 1	2 年次以上
ドイツ語読解初級		ドイツ語読解中級 2	
ドイツ語表現入門		ドイツ語表現中級 1	
ドイツ語表現初級		ドイツ語表現中級 2	
ドイツ語 1		検定ドイツ語 1	
ドイツ語 2		検定ドイツ語 2	
		検定ドイツ語 3	
		検定ドイツ語 4	

※「ドイツ語読解入門」または「ドイツ語表現入門」を修得した場合、「ドイツ語 1」を履修することはできない。「ドイツ語読解初級」または「ドイツ語表現初級」を修得した場合、「ドイツ語 2」を履修することはできない。

(3) D. 外国語科目（フランス語）の追加（網掛け部分）

科目	配当年次	科目	配当年次
フランス語読解入門	1 年次以上	フランス語読解中級 1	2 年次以上
フランス語読解初級		フランス語読解中級 2	
フランス語表現入門		フランス語表現中級 1	
フランス語表現初級		フランス語表現中級 2	
フランス語 1		実用フランス語 1	
フランス語 2		実用フランス語 2	
		実用フランス語 3	
		実用フランス語 4	

※「フランス語読解入門」または「フランス語表現入門」を修得した場合、「フランス語 1」を履修することはできない。「フランス語読解初級」または「フランス語表現初級」を修得した場合、「フランス語 2」を履修することはできない。

(4) E. 外国語科目（中国語）の削除と追加（網掛け部分）

(略)

科目一覧

(削除)

(追加)

科目	単位数	配当年次
中国語講読入門 1	1	1 年次以上
中国語講読入門 2	1	1 年次以上
中国語講読基礎 1	1	1 年次以上
中国語講読基礎 2	1	1 年次以上
中国語講読基礎 3	1	1 年次以上
中国語講読基礎 4	1	1 年次以上
中国語会話入門 1	1	1 年次以上
中国語会話入門 2	1	1 年次以上
中国語会話基礎 1	1	1 年次以上
中国語会話基礎 2	1	1 年次以上
中国語 1	1	1 年次以上
中国語 2	1	1 年次以上
中国語講読中級 1	1	2 年次以上

中国語講読中級 2	1	2 年次以上
中国語講読中級 3	1	2 年次以上
中国語講読中級 4	1	2 年次以上
中国語会話中級 1	1	2 年次以上
中国語会話中級 2	1	2 年次以上
中国語会話中級 3	1	2 年次以上
中国語会話中級 4	1	2 年次以上

※「中国語講読入門 1」「中国語講読基礎 1」「中国語講読基礎 3」「中国語会話入門 1」または「中国語会話基礎 1」を修得した場合、「中国語 1」を履修することはできない。「中国語講読入門 2」「中国語会話入門 2」または「中国語会話基礎 2」を修得した場合、「中国語 2」を履修することはできない。

(5) G. 体育科目の追加（網掛け部分）

分野	種類	科目	単位数	配当年次
体育科目	講義	体育概論	2	1 年次以上
		スポーツ概論	2	
		スポーツ学入門	2	
	実技	基礎体育1	1	
		基礎体育2	1	
		応用体育1	1	
		応用体育2	1	
		応用体育3	1	
		スポーツ実習1	1	
		スポーツ実習2	1	
	ネイチャー アクティビティ	余暇生活実習1	1	
		余暇生活実習2	1	
		余暇生活実習3	1	
		ネイチャーアクティビティ1	1	
		ネイチャーアクティビティ2	1	

※「体育概論」または「スポーツ概論」を修得した場合、「スポーツ学入門」を履修することはできない。「余暇生活実習 1」または「余暇生活実習 2」を修得した場合、「ネイチャーアクティビティ 1」を履修することはできない。「余暇生活実習 3」を修得した場合、「ネイチャーアクティビティ 2」を履修することはできない。

(6) III キャリア科目群の追加（網掛け部分）

科目一覧

科目	単 位 数	配当年次	備考
キャリアデザイン論	2	1 年次	
プロジェクト入門	2	1 年次	
インターンシップ基礎	2	2 年次・3 年次	最大4単位まで卒業に必要な単位として認める
インターンシップ実習	2	2 年次・3 年次	
インターンシップ実習1	1	1 年次以上	
インターンシップ実習2	1	1 年次以上	
インターンシップ実習3	1	1 年次以上	
インターンシップ実習4	1	1 年次以上	
インターンシップ実習Ⅰ	1	1 年次以上	
インターンシップ実習Ⅱ	1	1 年次以上	
インターンシップ実習Ⅲ	1	1 年次以上	
インターンシップ実習Ⅳ	1	1 年次以上	
キャリア言語	2	1 年次以上	
キャリア数学	2	1 年次以上	
キャリア数学1	2	2 年次以上	
キャリア数学2	2	2 年次以上	
文章論演習	2	2 年次以上	
キャリア英語	2	2 年次以上	
社会科学概論1	2	2 年次以上	
キャリア形成論1	2	2 年次	
キャリア形成論2	2	2 年次	
キャリア形成論3	2	3 年次	
社会人の基礎	2	4 年次	
キャリア形成プロジェクト	2	1 年次以上	
プロジェクト1	2	1 年次以上	
プロジェクト2	2	1 年次以上	
プロジェクト3	2	1 年次以上	
プロジェクト4	2	1 年次以上	
プロジェクト5	2	1 年次以上	
プロジェクト6	2	1 年次以上	
プロジェクト7	2	1 年次以上	

プロジェクト8	2	1 年次以上	
(略)		(略)	(略)
表現コミュニケーション (ダンス・ワークショップ2)	2	1 年次以上	
リーダーシップ入門	2	1 年次以上	
ファシリテーション入門	2	1 年次以上	
グローバルキャリア論	2	2 年次以上	
教員への道Ⅰ	2	1 年次以上	
教員への道Ⅱ	2	1 年次以上	
教科基礎力演習	2	3 年次以上	
教師力養成演習1	2	2 年次以上	
教師力養成演習2	2	2 年次以上	
全学教職ゼミ1	2	3 年次以上	
全学教職ゼミ2	2	3 年次以上	
教職教養演習1	2	3 年次以上	
教職教養演習2	2	3 年次以上	
留学生キャリア形成演習1	2	3 年次以上	
留学生キャリア形成演習2	2	3 年次以上	
追手門学院大学リーダーズ・スク ール・ゼミナール	2	1 年次以上	リーダー養成コース専用科目
リーダーシップゼミナール1	2	2 年次以上	
リーダーシップゼミナール2	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム1	2	1 年次以上	最大 2 単位までを卒業に必要な単位として認める。単位認定はプログラムが修了した翌学期に行う。ただし、卒業年度の秋学期に参加したプログラムは単位認定の対象としない。
リーダーズプログラム2	2	1 年次以上	
リーダーズプログラム3	2	1 年次以上	
リーダーズプログラム4	2	1 年次以上	
リーダーズプログラム5	2	1 年次以上	
リーダーシップ実地基礎演習	2	1 年次以上	
リーダーズプログラム6	2	2 年次以上	最大 2 単位までを卒業に必要な単位として認める。単位認定はプログラムが修了した翌学期に行う。ただし、卒業年度の秋学期に参加したプログラムは単位認定の対象としない。
リーダーズプログラム7	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム8	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム9	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム10	2	2 年次以上	
リーダーシップ実地発展演習	2	2 年次以上	
リーダーズプログラム11	2	2 年次以上	単位認定はプログラムが修了した翌学期に行う。ただし、卒業年度の秋学期に参加したプログラム

			は単位認定の対象としない。
--	--	--	---------------

※「キャリア数学1」「キャリア数学2」「キャリア数学3」または「キャリア数学4」のいずれかを修得した場合、「キャリア数学」を履修することはできない。

※「表現コミュニケーション1」を修得した場合、「リーダーシップ入門」を履修することはできない。「表現コミュニケーション2」を修得した場合、「ファシリテーション入門」を履修することはできない。

※「追手門学院大学リーダーズ・スクール・ゼミナール」を修得した場合、「リーダーシップゼミナール1」または「リーダーシップゼミナール2」を履修することはできない。

※「リーダーズプログラム1～5」を修得した場合、「リーダーシップ実地基礎演習」を履修することはできない。「リーダーズプログラム6～11」を修得した場合、「リーダーシップ実地発展演習」を履修することはできない。

(7) IV. 総合科目群の追加（網掛け部分）

分野	科目	単位数	配当年次	備考
U 追 I 大	追手門 UI 論	2	1 年次以上	
	笑学入門	2	1 年次以上	

	北摂を学ぶ	2	1 年次以上	
	オーストラリアを学ぶ 1	2	1 年次以上	
	オーストラリアを学ぶ 2	2	1 年次以上	
	オーストラリアを学ぶ	2	1 年次以上	
	ボランティア論	2	1 年次以上	
	地域文化創造研究	2	1 年次以上	
	地域文化創造演習	2	1 年次以上	
	地域学入門 1	2	1 年次以上	
	地域学入門 2	2	1 年次以上	
	地域文化の創造	2	1 年次以上	
	(略)	(略)	(略)	(略)
スポーツキャリア科目	スポーツ特殊講義 I	2	1 年次	スポーツキャリア コース専用科目。 専修条件がある。
	スポーツ特殊講義 II	2	4 年次	
	スポーツマッサージ実習 I	1	2 年次	
	スポーツマッサージ実習 II	1	2 年次	
	スポーツマネジメント論	2	3 年次	
	スポーツビジネス論	2	3 年次	
	トレーニング論	2	1 年次以上	
	スポーツケア演習	2	1 年次以上	
	スポーツ特殊講義	2	2 年次以上	
	スポーツ心理学	2	2 年次以上	
	コーチング論	2	2 年次以上	
	スポーツ栄養学	2	2 年次以上	
	スポーツ生理学	2	2 年次以上	
	障害者スポーツ論	2	3 年次以上	
	高齢者スポーツ論	2	3 年次以上	
	発育発達論	2	3 年次以上	
	スポーツ政策論	2	3 年次以上	
	コミュニティスポーツ論	2	4 年次	
	スポーツフィールド実習 I	2	2 年次	スポーツキャリア コース専用科目。 スポーツフィールド 実習 I は国内研 修、II は海外研 修に参加し、指 定されたレポート 等を提出すること で単位認定され る。
	スポーツフィールド実習 II	2	4 年次	

国際交流科目	交換留学インド	4	1 年次以上	
	交換留学オーストラリア	4	1 年次以上	
	交換留学アメリカ	4	1 年次以上	
	交換留学中国	4	1 年次以上	
	交換留学タイ	4	1 年次以上	
	交換留学イギリス	4	1 年次以上	
	交換留学韓国	4	1 年次以上	
	交換留学オランダ	4	1 年次以上	
	交換留学ドイツ	4	1 年次以上	
	交換留学台湾	4	1 年次以上	
	交換留学スペイン	4	1 年次以上	
	交換留学 I	4	1 年次以上	
	交換留学 II	4	1 年次以上	
	海外セミナー	4	1 年次以上	
	短期海外セミナー	2	1 年次以上	
	国際現地研修	4	2 年次以上	
	海外インターンシップ	4	2 年次以上	
	Introduction to Japanese Literature1	2	1 年次以上	大学が認めた留学生専用科目
	Introduction to Japanese Literature2	2	1 年次以上	
	Contemporary Japanese Society1	2	1 年次以上	
	Contemporary Japanese Society2	2	1 年次以上	
	Japanese Culture1	2	1 年次以上	
	Japanese Culture2	2	1 年次以上	
	Contemporary Japanese Philosophy1	2	1 年次以上	
	Contemporary Japanese Philosophy2	2	1 年次以上	
	Japanese Economics1	2	1 年次以上	
	Japanese Economics2	2	1 年次以上	

※「オーストラリアを学ぶ 1」または「オーストラリアを学ぶ 2」を修得した場合、「オーストラリアを学ぶ」を履修することはできない。

※「スポーツ特殊講義 I」または「スポーツ特殊講義 II」を修得した場合、「スポーツ特殊講義」を履修することはできない。

(8) 教養科目一覧の追加（網掛け部分）

分野	科目	単位数		配当年次	備考
		必修	選択		
オープンゼミ	オープンゼミ 1		2	2年次以上	
	オープンゼミ 2		2		
人文系	哲学入門		2	1年次以上	
	倫理学入門		2		
	宗教と社会		2		
	人文地理学入門		2		
	アジアと国際社会 1		2		
	アジアと国際社会 2		2		
	世界の歴史		2		
	言語学入門		2		
	アジアの文化 1		2		
	アジアの文化 2		2		
	くらしと文化		2		
	考古学入門		2		
	芸術学入門		2		
	異文化理解		2		
	欧米の文学		2		
	アジアの文学 1		2		
	アジアの文学 2		2		
	日本の文学		2		
	日本の伝統芸能		2		
	民俗学入門		2		
	日本の近現代史 1		2		
	日本の近現代史 2		2		
	日本文化論 1		2		
	日本文化論 2		2		
	欧米の歴史と文化		2		
	アジア・オセアニアの多文化社会		2		
	日本の歴史と文化		2		

	比較文化概論 1		2	1 年次 以上	
	比較文化概論 2		2		
	比較文化概論		2		
	ことばと文化(韓国語・朝鮮語)1		2		
	ことばと文化(韓国語・朝鮮語)2		2		
	ことばと文化		2		
	Global Awareness/Global Concepts				グローバルキャリアコース専用科目
	Intercultural Communication				
	国際異文化理解 1		10	2 年次 以上	大学が認めた留学生専用科目
	国際異文化理解 2		10		
社会系	基礎カリテラシー		2	1 年次 以上	
	心理学入門		2		
	市民社会と政治 1		2		
	市民社会と政治 2		2		
	法学入門		2		
	市民生活と法 1		2		
	市民生活と法 2		2		
	現代社会の法と政治		2		
	日本国憲法		2		
	現代社会と人権 1		2		
	現代社会と人権 2		2		
	現代社会と人権		2		
	国際関係入門		2		
	入門経済学 1		2		
	入門経済学 2		2		
	日本経済入門		2		
	経済学入門		2		
	ファイナンス入門		2		
	現代企業入門		2		
	社会学入門		2		
	メディア論		2		
	ジェンター論		2		
	社会調査入門		2		

	共生社会と福祉		2	1 年次 以上	
	余暇とレクリエーション		2		
	人間関係と心理		2		
	現代の子どもと教育 1		2		
	現代の子どもと教育 2		2		
	現代の子どもと教育		2		
	オーストラリアと国際社会 1		2		
	オーストラリアと国際社会 2		2		
	言語文化演習		2		
	身体表現入門		2		
自然系	自然科学概論		2	1 年次 以上	
	科学基礎入門		2		
	科学技術の未来と歴史		2		
	科学技術史 1		2		
	科学技術史 2		2		
	入門数学 1		2		
	入門数学 2		2		
	数的処理入門		2		
	数的処理の基礎		2		
	入門統計学 1		2		
	入門統計学 2		2		
	統計学入門		2		
	入門物理学 1		2		
	入門物理学 2		2		
	入門化学 1		2		
	入門化学 2		2		
	宇宙と物理学		2		
	環境の科学		2		
	地学		2		
	自然地理学		2		
	生物学 1		2		
	生物学 2		2		
	生物学		2		
日本事情	日本事情 1	2		1 年次 以上	外国人特別学 生、外国人留学 生及び帰国生徒
	日本事情 2	2			
	日本事情 3	2		1 年次 以上	
	日本事情 4	2			

					のうち指定された者のみ
--	--	--	--	--	-------------

※「比較文化概論 1」または「比較文化概論 2」を修得した場合、「比較文化概論」履修することはできない。

※「ことばと文化（韓国語・朝鮮語）1」または「ことばと文化（韓国語・朝鮮語）2」を修得した場合、「ことばと文化」を履修することはできない。

※「現代社会と人権 1」または「現代社会と人権 2」を修得した場合、「現代社会と人権」を履修することはできない。

※「現代の子どもと教育 1」または「現代の子どもと教育 2」を修得した場合、「現代の子どもと教育」を履修することはできない。

※「数的処理の基礎」を習得した場合、「数的処理入門」を履修することはできない。

※「入門統計学 1」または「入門統計学 2」を修得した場合、「統計学入門」を履修することはできない。

※「生物学 1」または「生物学 2」を修得した場合、「生物学」を履修することはできない。

大学院関係事項 「心理学研究科」

【臨床心理学コース】※臨床心理士受験資格に関する指定科目									
履修区分		授業科目	単位	担当者		配当年次	学期	備考	
必修	必	臨床心理学特論 1	2	中村 浩二	教授	1 年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
		臨床心理学特論 2	2	永野 浩二	教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
		臨床心理面接特論 1（心理支援に関する理論と実践）	2	馬場 天信 吉村 晋平	教授 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
		臨床心理面接特論 2	2	永野 浩二 中村 浩二	教授 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
		臨床心理アセスメント演習 1（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2	辻 潔 中鹿 彰	准教授 教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
		臨床心理アセスメント演習 2	2	櫻井 鼓 馬場 天信	准教授 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	修	臨床心理基礎実習	2	中鹿 彰 永野 浩二 辻 潔 櫻井 鼓 河崎 俊博	教授 教授 准教授 准教授 特任助教	1 年次以上	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ	
		臨床心理実習 1（心理実践実習）	1	溝部 宏二 馬場 天信 中井 由佳子	教授 教授 特任助教	2 年次以上	前期	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ	
		臨床心理実習 2	1	中村 浩二 益田 啓裕	教授 講師	同	後期	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ	
選択必修	選 択	A	臨床心理学研究法特論 1	2	中村 浩二 中鹿 彰 辻 潔 永野 浩二 馬場 天信 吉村 晋平 櫻井 鼓 益田 啓裕	教授 教授 准教授 教授 教授 准教授 准教授 講師	1 年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
			臨床心理学研究法特論 2	2	中村 浩二 中鹿 彰 辻 潔 永野 浩二 馬場 天信 吉村 晋平 櫻井 鼓 益田 啓裕	教授 教授 准教授 教授 教授 准教授 准教授 講師	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
		心理統計法特論	2	東 正訓	教授	同	不開講	（隔年開講）	
	必	B	認知心理学特論	2	石王 敦子	教授	同	不開講	（隔年開講）
			言語発達支援論	2	高橋 登	講師	同	前期	集中（隔年開講）
			発達進化特論	2	竹下 秀子	教授	同	前期	（隔年開講）
	修	C	社会心理学特論	2	東 正訓	教授	同	後期	（隔年開講）
			犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2	櫻井 鼓	准教授	同	前期	
		D	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2	溝部 宏二	教授	同	後期	
			神経生理学特論	2	田中 秀明	准教授	同	前期	
			障害者（児）心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2	中鹿 彰	教授	同	不開講	
	E	投映法特論	2	明翫 光宜	講師	同	不開講	集中（隔年開講）臨床心理学コース専攻生のみ	
		心理療法特論 1	2	米山 直樹	講師	同	前期	集中（隔年開講）臨床心理学コース専攻生のみ	
		心理療法特論 2	2	馬場 天信	教授	同	不開講	集中（隔年開講）臨床心理学コース専攻生のみ	
履修区分		授業科目	単位	担当者		配当年次	学期	備考	
選択必修	選	臨床心理アセスメント実習Ⅰ 1（心理実践実習）	1	中鹿 彰 辻 潔 河崎 俊博 永野 浩二	教授 准教授 特任助教 教授	1 年次以上	前期		
		臨床心理アセスメント実習Ⅰ 2（心理実践実習）	1	永野 浩二 櫻井 鼓 吉村 晋平 中井 由佳子	教授 准教授 准教授 特任助教	同	後期		
		臨床心理アセスメント実習Ⅱ 1（心理実践実習）	1	溝部 宏二 馬場 天信 益田 啓裕 中井 由佳子	教授 教授 講師 特任助教	2 年次以上	前期		
		臨床心理アセスメント実習Ⅱ 2（心理実践実習）	1	中村 浩二 溝部 宏二 河崎 俊博 馬場 天信	教授 教授 特任助教 教授	同	後期		
	択	臨床心理実践基礎実習（心理実践実習）	1	中鹿 彰 永野 浩二 中井 由佳子	教授 教授 特任助教	1 年次以上	前期		
臨床心理実践応用実習（心理実践実習）		1	中村 浩二 辻 潔 永野 浩二 中鹿 彰 馬場 天信 吉村 晋平 櫻井 鼓 益田 啓裕	教授 准教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 講師	2 年次以上	後期			
必修	修	臨床心理学コース演習 1	1	益田 啓裕 中村 浩二 吉村 晋平 中鹿 彰 辻 潔 永野 浩二 馬場 天信 倉西 宏 櫻井 鼓	講師 教授 准教授 教授 教授 教授 教授 講師 准教授	同	前期	（修士論文指導） 臨床心理学コース専攻生のみ ※Gクラスのみ集中	
		臨床心理学コース演習 2	1	益田 啓裕 中村 浩二 吉村 晋平 中鹿 彰 辻 潔 永野 浩二 馬場 天信 倉西 宏 櫻井 鼓	講師 教授 准教授 教授 教授 教授 教授 講師 准教授	同	後期	（修士論文指導） 臨床心理学コース専攻生のみ ※Gクラスのみ集中	
上記の A～E の科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。									

上記の A～E の科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。

【臨床心理学コース】※臨床心理士受験資格に関する指定科目						
履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考
選 択	臨床心理学外短期実習（心理実践実習）	1	竹下 秀子 教授 永野 浩二 教授 櫻井 鼓 准教授 中井 由佳子 特任助教 増井 啓太 准教授	1年次以上	後期	
	臨床心理地域援助特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2	串崎 真志 講師	同	前期	集中
	学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2	岩本 脩平 講師	同	後期	集中（隔年開講）
	産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	2	水本 正志 講師	同	後期	集中
	ガイダンス特論（心の健康教育に関する理論と実践）	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	（隔年開講）
	学校カウンセリング特論（心理支援に関する理論と実践）	2	三川 俊樹 教授	同	前期	
	z	2	乾 敏郎 教授	同	後期	（隔年開講）
	上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	後期	
	上級対人行動学演習	2	金政 祐司 教授	同	前期	
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。						

【臨床心理士受験資格】
(1) 臨床心理学コースで修士課程を修了した者
(2) 上記の指定科目の修得要件を満たしていること
(3) 臨床心理学に関連したテーマと内容の修士論文を提出していること
以上の全ての要件を満たしていなければならない。

【生涯発達・生涯教育心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考
必修	生涯発達・生涯教育心理学研究演習	1	A 乾 敏郎 教授	1 年次以上	後期	
			B 三川 俊樹 教授			
			C 田中 秀明 准教授			
			D 竹下 秀子 教授			
			E 石王 敦子 教授			
			F 駿地 眞由美 准教授			
			G 大神田 麻子 准教授			
			H 鹿子木 康弘 准教授			
	生涯発達・生涯教育心理学コース演習 1	1	A 乾 敏郎 教授 B 三川 俊樹 教授 C 田中 秀明 准教授 D 竹下 秀子 教授 E 石王 敦子 教授 F 駿地 眞由美 准教授 G 大神田 麻子 准教授 H 鹿子木 康弘 准教授	2 年次以上	前期	(修士論文指導)
	生涯発達・生涯教育心理学コース演習 2	1	A 乾 敏郎 教授 B 三川 俊樹 教授 C 田中 秀明 准教授 D 竹下 秀子 教授 E 石王 敦子 教授 F 駿地 眞由美 准教授 G 大神田 麻子 准教授 H 鹿子木 康弘 准教授	同	後期	(修士論文指導)
選択	記憶と言語	2	石王 敦子 教授	1 年次以上	前期	(隔年開講)
	認知心理学特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	臨床発達心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	田爪 宏二 講師	同	不開講	(隔年開講)
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期	
	発達進化特論	2	竹下 秀子 教授	同	前期	(隔年開講)
	言語発達特論	2	高橋 登 講師	同	不開講	集中 (隔年開講)
	言語発達支援論	2	高橋 登 講師	同	前期	集中 (隔年開講)
	臨床発達支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	社会認知神経科学特論	2	乾 敏郎 教授	同	後期	(隔年開講)
	教育心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2	鹿子木 康弘 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	学校心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)
	ガイダンス特論 (心の健康教育に関する理論と実践)	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)
	学校カウンセリング特論 (心理支援に関する理論と実践)	2	三川 俊樹 教授	同	前期	
	カウンセリング技法演習 (心理支援に関する理論と実践)	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)
	生涯教育心理学演習	2	鹿子木 康弘 准教授	同	後期	
	生涯発達心理学演習	2	田爪 宏二 講師	同	前期	(隔年開講)
	社会認知神経科学演習	2	乾 敏郎 教授	同	不開講	(隔年開講)
	発達教育アセスメント演習 1 (心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	発達教育アセスメント演習 2 (心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	駿地 眞由美 准教授	同	前期	(隔年開講)
	発達教育心理実践実習 I 1 (心理実践実習)	1	三川 俊樹 教授 石王 敦子 教授 大神田 麻子 准教授 東 正訓 教授 竹下 秀子 教授	同	前期	
	発達教育心理実践実習 I 2 (心理実践実習)	1	三川 俊樹 教授 石王 敦子 教授 大神田 麻子 准教授 東 正訓 教授 竹下 秀子 教授	同	後期	
	発達教育心理実践実習 II 1 (心理実践実習)	1	竹下 秀子 教授 駿地 眞由美 准教授 乾 敏郎 教授 東 正訓 教授 三川 俊樹 教授	2 年次	前期	
	発達教育心理実践実習 II 2 (心理実践実習)	1	竹下 秀子 教授 駿地 眞由美 准教授 乾 敏郎 教授 東 正訓 教授 三川 俊樹 教授	同	後期	
	以上の科目から、16単位以上を修得すること。					

【社会・環境・犯罪心理学コース】							
履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考	
必修	社会・環境・犯罪心理学コース演習Ⅰ A B C D	2	金政 祐司 教授 浦 光博 教授 東 正訓 教授 増井 啓太 准教授	1年次	通年		
	社会・環境・犯罪心理学コース演習Ⅱ A B C D	2	金政 祐司 教授 浦 光博 教授 東 正訓 教授 増井 啓太 准教授	2年次	通年	(修士論文指導)	
選択必修	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	1年次以上	後期	(隔年開講)	
	環境心理学特論	2		同	不開講	(隔年開講)	
	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	櫻井 鼓 准教授	同	前期		
	対人行動学特論	2	金政 祐司 教授	同	後期	(隔年開講)	
	産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2	水本 正志 講師	同	後期	集中	
	臨床心理地域援助特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2	串崎 真志 講師	同	前期	集中	
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	集団力学特論	2	浦 光博 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	以上の講義科目から、4科目8単位以上を修得すること。						
	上級社会心理学演習	2	東 正訓 教授	同	前期		
	上級環境心理学演習	2		同	不開講		
	上級犯罪心理学演習	2	増井 啓太 准教授	同	前期		
	上級対人行動学演習	2	金政 祐司 教授	同	前期		
	上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	後期		
	以上の演習科目から、1科目2単位以上を修得すること。						
選択	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	溝部 宏二 教授	1年次以上	後期		
	障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	中鹿 彰 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	記憶と言語	2	石王 敦子 教授	同	前期	(隔年開講)	
	認知心理学特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	臨床発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	田爪 宏二 講師	同	不開講	(隔年開講)	
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期		
	発達進化特論	2	竹下 秀子 教授	同		(隔年開講)	
	言語発達特論	2	高橋 登 講師	同	不開講	集中(隔年開講)	
	言語発達支援論	2	高橋 登 講師	同	前期	集中(隔年開講)	
	臨床発達支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	社会認知神経科学特論	2	乾 敏郎 教授	同	後期	(隔年開講)	
	教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	鹿子木 康弘 准教授	同	不開講	(隔年開講)	
	学校心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)	
	ガイダンス特論(心の健康教育に関する理論と実践)	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	学校カウンセリング特論(心理支援に関する理論と実践)	2	三川 俊樹 教授	同	前期		
	カウンセリング技法演習(心理支援に関する理論と実践)	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	生涯教育心理学演習	2	鹿子木 康弘 准教授	同	後期		
	生涯発達心理学演習	2	田爪 宏二 講師	同	前期	(隔年開講)	
	発達教育アセスメント演習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	駿地 真由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)	
	発達教育アセスメント演習2(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	駿地 真由美 准教授	同	前期	(隔年開講)	
	択	発達教育心理実践実習Ⅰ1(心理実践実習)	1	三川 俊樹 教授 石王 敦子 教授 大神田 麻子 准教授 東 正訓 教授 竹下 秀子 教授	同	前期	
		発達教育心理実践実習Ⅰ2(心理実践実習)	1	三川 俊樹 教授 石王 敦子 教授 大神田 麻子 准教授 東 正訓 教授 竹下 秀子 教授	同	後期	
		発達教育心理実践実習Ⅱ1(心理実践実習)	1	竹下 秀子 教授 駿地 真由美 准教授 乾 敏郎 教授 東 正訓 教授 三川 俊樹 教授	2年次	前期	
		発達教育心理実践実習Ⅱ2(心理実践実習)	1	竹下 秀子 教授 駿地 真由美 准教授 乾 敏郎 教授 東 正訓 教授 三川 俊樹 教授	同	後期	
		臨床心理学外短期実習(心理実践実習)	1	竹下 秀子 教授 永野 浩二 教授 櫻井 鼓 准教授 中井 由佳子 特任助教 増井 啓太 准教授	1年次以上	後期	

上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。

上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。

規程等

「地域創造学部規程」

「地域創造学科履修細則」

【地域創造学部規程一部変更】 2017年度入学生に適用

(略)															
別表Ⅰ 地域創造学科開講科目表															
履修区分	分野	授業科目	単位			配当年次				教職※	要件				
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4						
(略)															
必修	学科科目	基礎科目群	地域創造学入門	2			○	○	○	○		地域創造入門又は地域創造学概論、男女共同参画社会論、少子高齢化社会論を含めて18単位以上選択必修(注)「地域創造入門」を修得した場合、「地域創造学概論」を履修することはできない。「経営学基礎論」を修得した場合、「マネジメント基礎論」を履修することはできない。			
			地域創造学概論	2			○	○	○	○					
男女共同参画社会論			2				○	○	○		科				
少子高齢化社会論			2				○	○	○				科		
経済学基礎論			2			○	○	○	○						
経営学基礎論			2			○	○	○	○						
マネジメント基礎論			2			○	○	○	○						
会計学基礎論			2			○	○	○	○						
地域経済・事業創造論			2				○	○	○						
観光学入門			2				○	○	○						
まちづくり・地域活性化論			2				○	○	○						
地域文化・都市文化論			2				○	○	○						
地誌学1			2				○	○	○	科					
地誌学2			2				○	○	○		科				
現代社会論			2				○	○	○	科					
グローバル社会論			2				○	○	○						
質的調査法			2				○	○	○						
(略)															
選択			学科科目	隣接・関連科目群	講義科目群	社会調査文献研究			2		○		○	○	(注)「観光英語1」を修得した場合、「英語英語1」を履修することはできない。「観光英語2」を修得した場合、「英語英語2」を履修することはできない。
						基礎社会統計			2		○		○	○	
	社会統計応用						2		○	○	○				
	ベンチャーファイナンス論1						2		○	○	○				
	ベンチャーファイナンス論2						2		○	○	○				
	リーダーシップ論						2		○	○	○				
	サブカルチャー論						2		○	○	○				
	都市文化論						2			○	○				
	福祉社会論1						2			○	○				
	福祉社会論2						2			○	○				
	日本の伝統芸能と文学1						2			○	○				
	日本の伝統芸能と文学2						2			○	○				
	観光英語1						2			○	○				
	観光英語2						2			○	○				
	英語英語1						2			○	○				
	英語英語2						2			○	○				
	哲学概論1						2			○	○	科			
	哲学概論2						2			○	○		科		
	倫理学概論1						2			○	○	科			
	倫理学概論2						2			○	○		科		
	西洋史概説1						2			○	○	科			
	西洋史概説2						2			○	○		科		
	東洋史概説1						2			○	○	科			
	東洋史概説2						2			○	○		科		
	自然地理学概説1						2			○	○	科			
	自然地理学概説2						2			○	○		科		
	法律学概論1						2			○	○	科			
	法律学概論2						2			○	○		科		
	国際事情						4			○	○	科			
	国際コミュニケーション論						4			○	○		科		
	国際表現演習						4			○	○	科			
	国際特別演習						4			○	○		実習系科目群		
	日本文化実習						2			○	○				
	祭り研究						2			○	○				
	商店街研究						2			○	○				
	観光地研究						2			○	○				
	災害復興研究						2			○	○				
	社会調査実習1						2			○	○				
	社会調査実習2						2			○	○				

※教職課程に関する科目であり、「聴」は教職に関する科目、「又」は教職又は教料に関する科目。
「科」は教料に関する科目である。免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。

※教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「又」は教職又は教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。

附 則

この規程は、2019年4月1日から施行する。

【地域創造学科履修細則一部変更】2017年度入学生に適用

(略)

IV 卒業論文

- 1) 卒業論文は、必修科目4単位とする。地域創造学科第4年次に在学する者は、担当教員の指導のもとに、所定の手続を経て、所定の期日までに卒業論文を提出しなければならない。
- 2) 卒業論文は、地域創造学科の専攻に関連する研究成果を選び、単独もしくは共同で論述するものとする。なお、事前審査において許可された場合に限り、卒業論文に代えて、卒業制作を研究成果として提出することができる。
- 3) 卒業論文は、A4判の用紙(1ページ800字、横書き)を用い、20枚以上とする。

卒業制作を研究成果として提出する場合は、以下の4点の提出を要件とする。

①計画書

②進捗状況説明書

③制作物

④制作物説明書

- 4) 卒業論文は、12月15日までに提出しなければならない。

なお、期日に遅れた場合は受理しない。ただし、病気その他やむを得ない事情により期日までに提出できない場合は、その理由を証する書面を添えて12月15日までに願い出た場合に限り、1月10日を提出限度として延期を許可することがある。

卒業制作を研究成果として提出する場合は、3)に指定された①②③を、それぞれ指定された期日までに、担当教員が指定する場所へ提出し、制作物説明書を、12月15日までに提出しなければならない。

- 5) 卒業論文の審査は論文審査及び口頭試問、卒業制作の審査は提出物の審査及び口頭試問とし、複数の教員が担当する。
- 6) 卒業論文の審査に不合格の場合、あるいは提出しなかった場合には、次年度の春学期に提出することができる。この場合には、6月15日までに卒業論文を提出しなければならない。

卒業制作の審査に不合格の場合、あるいは提出しなかった場合には、再度、3)に指定された①②③を、それぞれ指定された期日までに、担当教員が指定する場所へ提出した場合に限り、次年度の春学期に提出することができる。この場合には、6月15日までに制作物説明書を提出しなければならない。卒業制作の審査に不合格、あるいは提出しなかった者が、次年度の春学期に卒業論文を提出することを希望する場合は、これを認める。この場合には、6月15日までに卒業論文を提出しなければならない。

なお、期日に遅れた場合は受理しない。ただし、病気その他やむを得ない事情により期日までに提出できない場合は、その理由を証する書面を添えて6月15日までに願い出た場合に限り、7月10日を提出限度として延期を許可することがある。

附 則

この規程は、2019年4月1日から施行する。

規程等

「社会学部規程」

「社会学科履修細則」

【社会学部規程一部変更】2017年度入学生に適用

別表 I

社会学学科科目表

履修 区分		科目	授業科目	単位			配当年次				要件
				必修	選択 必修	選択	1	2	3	4	
必修	学科科目	演習	コミュニケーション演習	2			○	○	○	○	14単位
			基礎演習1	2				○	○	○	
			基礎演習2	2				○	○	○	
			専門演習1	2					○	○	
			専門演習2	2					○	○	
			卒論演習1	2						○	
			卒論演習2	2						○	
		選択 必修	論文	卒業論文	(削る)	6					○
卒業研究				6					○		
(略)											

【社会学科履修細則一部変更】2016、2017、2018 年度入学生に適用

社会学科履修細則

I 一般的事項

(略)

IV 卒業研究

- 1) 卒業研究は、必修科目 6 単位とする。社会学科第 4 年次に在学する者は、担当教員の指導のもとに、所定の手続を経て、所定の期日までに卒業論文を提出しなければならない。
- 2) 卒業論文は、社会学科の専攻に関連する研究成果を選び、論述するものとする。
- 3) 卒業論文は、A4 判の用紙を用い、400 字 30 枚以上(ワープロの場合は、800 字 15 枚以上)とする。
- 4) 卒業論文に代えて卒業制作を認める場合がある。卒業制作は、個人製作または共同製作もしくは共同研究とする。共同製作及び共同研究は、個人の貢献度が明確に把握でき、評価が個人単位で可能な場合に限る。
- 5) 卒業論文、卒業制作は、12 月 15 日までに教務課に提出しなければならない。
なお、期日に遅れた者は受理しない。ただし、病気その他やむを得ない事情により期日までに提出できない者は、その理由を証する書面を添えて 12 月 15 日までに願い出た場合に限り、1 月 10 日を提出限度として延期を許可することがある。
- 6) 卒業論文、卒業制作の審査は論文審査及び口頭試問とし、複数の教員が担当する。
- 7) 卒業論文、卒業制作の審査に不合格の場合、あるいは提出しなかった場合には、次年度の春学期に提出することができる。この場合には、6 月 15 日までに卒業論文、卒業制作を教務課に提出しなければならない。
なお、期日に遅れた者は受理しない。ただし、病気その他やむを得ない事情により期日までに提出できない者は、その理由を証する書面を添えて 6 月 15 日までに願い出た場合に限り、7 月 10 日を提出限度として延期を許可することがある。

規程等
「心理学部規程」

【心理学部規程一部変更】2017年度入学生に適用

別表Ⅰ 心理学部心理学科開講科目表

履修区分		分野	授業科目	単位			配当年次				教職※1	要件		
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4				
必修	学科科目	研究	講読演習	2					○	○		8単位		
			特論演習	2					○	○				
			卒業業務研究	1	2					○				
			卒業業務研究	2	2					○				
選択		論文	卒業業務論文	文		4				○				
(略)														
選択必修	学科科目	実習	心理学実験実習		2			○	○	○	○	全員履修 (2時限連続受講)		
			心理学実験		2			○	○	○	○			
			心理調査法実習		1				○	○	○			
			心理検査実習		1				○	○	○			
			心理検査実習2		2				○	○	○			
			心理面接実習		1				○	○	○			
		心理面接実習2※		2		1			○	○	○			
(略)														
選択必修	学科	実践演習	ライフスタイル演習		2				○			全員履修		
			心理実践インターンシップ		1					○	○			
			心理実習		1						○		○	
			心理実践インターンシップ2		2						○		○	
			心理実習2※		3						○		○	
			メンタルケア演習		2						○		○	
			チャイルドサポート演習		2								○	○
			ビジネスリサーチ演習		2								○	○
			リサーチチャー演習		2									○
	科目	研究法	心理統計法		1				○	○	○	○	4単位以上	
			心理学統計法		1					○	○	○		○
			心理統計法2※		4					○	○	○		○
心理学統計法2※				5					○	○	○	○		
心理学的データ解析				2						○	○	○		
心理学研究方法				2							○	○		○
心理検査法				2							○	○		○
		心理的アセスメント		2						○	○	○		
(略)														

※1 教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「又」は教職又は教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。

※2 「心理面接実習2」は、「心理面接実習1」を修得した者が履修できる。

※3 「心理実習2」は、「心理実習1」を修得した者が履修できる。

※4 「心理統計法2」は、「心理統計法1」を修得した者が履修できる。

※5 「心理学統計法2」は、「心理学統計法1」を修得した者が履修できる。

附 則

この規程は、2019年4月1日から施行する。

規程等

「国際教養学部規程」

【国際教養学部規程一部変更】 2017年度入学生に適用

(1) 国際教養学科 開講科目表(2017年度入学生用)

履修区分	分野	授業科目	単位数			配当年次				教職	要件
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
必修科目	演習	Research Project 1	2					○	○		8単位
		Research Project 2	2					○	○		
		Research Project 3	2						○		
		Research Project 4	2						○		
	専修英語	Reading 1 (EAP)	2			○	○	○	○		14単位
		Reading 2 (EAP)	2			○	○	○	○		
		Writing 1 (EAP)	2			○	○	○	○		
		Writing 2 (EAP)	2			○	○	○	○		
		Communication (EAP)	4				○	○	○	職・科	
		Speech and Presentation (EAP)	2				○	○	○		
選択必修A	グローバルイシュー	グローバル・イシュー1:ことばと人		2			○	○	○		4単位以上
		グローバル・イシュー2:社会と文化		2			○	○	○		
		グローバル・イシュー3:異文化と共生		2			○	○	○		
		グローバル・イシュー4:政治と経済		2			○	○	○		
		国際事情		4			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
選択必修B	実践英語	Discussion and Debate		2			○	○	○		4単位以上
		Critical Thinking Workshop		2			○	○	○		
		Problem Solving Workshop		2			○	○	○		
		自律学習法演習1		2		○	○	○	○		
		自律学習法演習2		2			○	○	○		
		Negotiation English		2			○	○	○		グローバルリーダーコース留学学生のみに履修可
		国際表現演習		4			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
選択必修C	共通	英語学概論1		2			○	○	○	科	14単位以上
		英語学概論2		2			○	○	○	科	
		英語音声学1		2			○	○	○	科	
		英語音声学2		2			○	○	○	科	
		言語情報処理概論1		2			○	○	○	科	
		言語情報処理概論2		2			○	○	○	科	
		英語学講義1		2			○	○	○	科	
		英語学講義2		2			○	○	○	科	
		英文学概論1		2			○	○	○	科	
		英文学概論2		2			○	○	○	科	
		米文学概論1		2			○	○	○	科	
		米文学概論2		2			○	○	○	科	
		イギリス文化講義		2			○	○	○	科	
		アメリカ文化講義		2			○	○	○	科	
		イギリス史		2			○	○	○	科	
		アメリカ史		2			○	○	○	科	
		情報科学各論1		2			○	○	○	職	
		情報科学各論2		2			○	○	○	職	
		ICTと英語研究		2			○	○	○		
		ICTと英語教育		2			○	○	○		

留学	Summer Intensive Session			4	☐	☐	☐	☐		1年次に全員履修とする
	Spring Session			4	☐	☐	☐	☐		
	アジア論1			2		☐	☐	☐		アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの(科目名番号の同じもの)をセットで履修すること。
	アジア論2			2		☐	☐	☐		
	アジアの中の日本1			2		☐	☐	☐		
	アジアの中の日本2			2		☐	☐	☐		
	フィールドワーク論			2	☐	☐	☐	☐		
	東洋史概説1			2		☐	☐	☐		
	東洋史概説2			2		☐	☐	☐		
	日本史概説1			2		☐	☐	☐		
	日本史概説2			2		☐	☐	☐		
	考古学概説1			2		☐	☐	☐		
	考古学概説2			2		☐	☐	☐		
	人文地理学概説1			2		☐	☐	☐		
	人文地理学概説2			2		☐	☐	☐		
	自然地理学概説1			2		☐	☐	☐		
	自然地理学概説2			2		☐	☐	☐		
	地誌学1			2		☐	☐	☐		
	地誌学2			2		☐	☐	☐		
	アジア研究入門1			2		☐	☐	☐		
	アジア研究入門2			2		☐	☐	☐		
	東南アジアの社会1			2		☐	☐	☐		
	東南アジアの社会2			2		☐	☐	☐		
	南・西南アジアの社会1			2		☐	☐	☐		
	南・西南アジアの社会2			2		☐	☐	☐		
	インドの思想と宗教1			2		☐	☐	☐		
	インドの思想と宗教2			2		☐	☐	☐		
	近現代の中国			2		☐	☐	☐		
	現代中国の文芸1			2		☐	☐	☐		
	現代中国の文芸2			2		☐	☐	☐		
	漢文学			2		☐	☐	☐		
	漢文学1			2		☐	☐	☐		
	漢文学2			2		☐	☐	☐		
	日本文学史1			2		☐	☐	☐		
	日本文学史2			2		☐	☐	☐		
	日本文学概説1			2		☐	☐	☐		
	日本文学概説2			2		☐	☐	☐		
	中国の思想1			2			☐	☐		
	中国の思想2			2			☐	☐		
	西南アジアの歴史1			2			☐	☐		
	西南アジアの歴史2			2			☐	☐		
	中国の文学1			2			☐	☐		
	中国の文学2			2			☐	☐		
	日本の芸能と文学			2			☐	☐		
	日本の芸能と文学1			2			☐	☐		
	日本の芸能と文学2			2			☐	☐		

選択

国際日本学科・隣接・関連科目

比較社会史1			2			○	○	
比較社会史2			2			○	○	
現代アジアの諸問題1			2			○	○	
現代アジアの諸問題2			2			○	○	
アジア・オーストラリア関係論1			2		○	○	○	
アジア・オーストラリア関係論2			2		○	○	○	
アジアフィールドワーク1			4		○	○	○	
アジア社会演習1			4		○	○	○	
アジアフィールドワーク2			4		○	○	○	
アジア社会演習2			4		○	○	○	
アジアフィールドワーク3			4		○	○	○	

アジア社会演習3			4		○	○	○	
アジアフィールドワーク4			4		○	○	○	
アジア社会演習4			4		○	○	○	
日本語のための古典1			2	○	○	○	○	
日本語のための古典2			2	○	○	○	○	
日本語学Ⅰ			2	○	○	○	○	
日本語学Ⅱ			2	○	○	○	○	
日本語学概説Ⅰ			2	□	□	□	□	
日本語学概説Ⅱ			2	□	□	□	□	
南・西南アジア諸語の世界1			2		○	○	○	
南・西南アジア諸語の世界2			2		○	○	○	
東南アジア諸語の世界1			2		○	○	○	
東南アジア諸語の世界2			2		○	○	○	
世界の諸言語と文化4(アジア諸語)			2		□	□	□	
韓国語・朝鮮語の世界			2		○	○	○	
国語学Ⅰ			2		○	○	○	
国語学Ⅱ			2		○	○	○	
国語学Ⅰ(音声言語)			2		□	□	□	
国語学Ⅱ(文章表現)			2		□	□	□	
国語学史			2			○	○	
日本語教育演習Ⅰ			2			○	○	
日本語教育演習Ⅱ			2			○	○	
アジア英語Ⅰ			2			○	○	
アジア英語Ⅱ			2			○	○	
日本語教授法			2		□	□	□	
日本語教育実習Ⅰ			1				○	
日本語教育実習Ⅱ			1				○	
図書館・デジタルアーカイブ活用法			2			□	□	
教職ゼミⅠ			2		○	○	○	
教職ゼミⅡ			2			○	○	
西洋史概説Ⅰ			2		○	○	○	
西洋史概説Ⅱ			2		○	○	○	
応用日本語Ⅰ			2		○	○	○	
応用日本語Ⅱ			2		○	○	○	
美学美術史Ⅰ			2		○	○	○	
美学美術史Ⅱ			2		○	○	○	
哲学概論Ⅰ			2		○	○	○	
哲学概論Ⅱ			2		○	○	○	
文化人類学			2			○	○	
オーストラリア産業論Ⅰ			2		○	○	○	
オーストラリア産業論Ⅱ			2		○	○	○	
韓国の文化と社会Ⅰ			2		○	○	○	
韓国の文化と社会Ⅱ			2		○	○	○	
現代韓国事情			2		○	○	○	

附 則

この規程は、2019年4月1日から施行する。

【国際教養学部規程一部変更】 2017年度入学生に適用

(2) 国際日本学科 開講科目表(2017年度入学生用)

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
必修	講義	アジア論1	2					○	○	○		16単位
		アジア論2	2					○	○	○		
		アジアの中の日本1	2					○	○	○		
		アジアの中の日本2	2					○	○	○		
		基礎演習1	2					○	○	○		
		基礎演習2	2					○	○	○		
		Seminar 1	2					○	○	○		
		Seminar 2	2					○	○	○		
		応用演習1	2						○	○		
		応用演習2	2						○	○		
	演習	卒業演習1	2							○		
		卒業演習2	2							○		
	専修中国語群	専修中国語初級講読1		2			○	○	○	○		専修中国語群もしくは専修英語群のいずれかを選択し、16単位以上修得すること。ただし、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者については学科の指定する専修外国語群から16単位以上修得しなければならない。 専修中国語初級講読1と専修中国語初級講読3、または専修中国語初級講読2と専修中国語初級講読4は、それぞれ必ずセットとして、なおかつ同じクラスで履修すること。
		専修中国語初級講読2		2			○	○	○	○		
		専修中国語初級講読3		2			○	○	○	○		
		専修中国語初級講読4		2			○	○	○	○		
		専修中国語初級会話1		2			○	○	○	○		
		専修中国語初級会話2		2			○	○	○	○		
		専修中国語中級講読1		2				○	○	○	科	
		専修中国語中級講読2		2				○	○	○	科	
		専修中国語中級作文1		2				○	○	○	科	
		専修中国語中級作文2		2				○	○	○	科	
		専修中国語中級会話1		2				○	○	○	科	
		専修中国語中級会話2		2				○	○	○	科	
		専修総合中国語1		2					○	○	科	
		専修総合中国語2		2					○	○	科	
		専修中国語上級会話1		2					○	○	科	
		専修中国語上級会話2		2					○	○	科	
	選択必	中国語現地演習		4				○	○	○		中国語現地演習と中国語文化演習は必ずセットで履修すること。
		中国語文化演習		4				○	○	○		

必修
A

Reading 1 (EAP)		2		☐	☐	☐	☐
英語リーディング1		2		☐	☐	☐	☐
Reading 2 (EAP)		2		☐	☐	☐	☐
英語リーディング2		2		☐	☐	☐	☐
Writing 1 (EAP)		2		☐	☐	☐	☐
英語ライティング1		2		☐	☐	☐	☐
Writing 2 (EAP)		2		☐	☐	☐	☐
英語ライティング2		2		☐	☐	☐	☐
英語発音クリニック		2		☐	☐	☐	☐
英語リーディング3		2			☐	☐	☐
英語リーディング4		2			☐	☐	☐
英語ライティング3		2			☐	☐	☐
英語ライティング4		2			☐	☐	☐
英語コミュニケーション1		2			☐	☐	☐
英語コミュニケーション2		2			☐	☐	☐
Communication (EAP)		4			☐	☐	☐
英語プレゼンテーション1		2				☐	☐
英語プレゼンテーション2		2				☐	☐

論文	卒業論文		6				☐
講義	フィールドワーク論		2		☐	☐	☐
	東洋史概説1		2			☐	☐
	東洋史概説2		2			☐	☐
	西洋史概説1		2			☐	☐
	西洋史概説2		2			☐	☐
	日本史概説1		2			☐	☐
	日本史概説2		2			☐	☐
	考古学概説1		2			☐	☐
	考古学概説2		2			☐	☐
	人文地理学概説1		2			☐	☐
	人文地理学概説2		2			☐	☐
	自然地理学概説1		2			☐	☐
	自然地理学概説2		2			☐	☐
	地誌学1		2			☐	☐
	地誌学2		2			☐	☐
	アジア研究入門1		2			☐	☐
	アジア研究入門2		2			☐	☐
	東南アジアの社会1		2			☐	☐
	東南アジアの社会2		2			☐	☐
	南・西南アジアの社会1		2			☐	☐
	南・西南アジアの社会2		2			☐	☐
	インドの思想と宗教1		2			☐	☐
	インドの思想と宗教2		2			☐	☐
	近現代の中国		2			☐	☐
	現代中国の文芸1		2			☐	☐
	現代中国の文芸2		2			☐	☐
	漢文学		2			☐	☐

選択必修
B

24単位以上

学 科 科 目		漢文学1		2			☐	☐	☐	科	
		漢文学2		2			☐	☐	☐	科	
		日本文学史1		2			☐	☐	☐	科	
		日本文学史2		2			☐	☐	☐	科	
		日本文学概説1		2			☐	☐	☐	科	
		日本文学概説2		2			☐	☐	☐	科	
		中国の思想1		2				☐	☐	科	
		中国の思想2		2				☐	☐	科	
		西南アジアの歴史1		2				☐	☐	科	
		西南アジアの歴史2		2				☐	☐	科	
		中国の文学1		2				☐	☐	科	
		中国の文学2		2				☐	☐	科	
		日本の芸能と文学		2				☐	☐		
		日本の芸能と文学1		2				☐	☐	科	
		日本の芸能と文学2		2				☐	☐	科	
		比較社会史1		2				☐	☐	科	
		比較社会史2		2				☐	☐	科	
		現代アジアの諸問題1		2				☐	☐		
		現代アジアの諸問題2		2				☐	☐		
		アジア・オーストラリア関係論1		2			☐	☐	☐		
		アジア・オーストラリア関係論2		2			☐	☐	☐		
		国際コミュニケーション論		4			☐	☐	☐		大学が認めた留学生専用科目
		国際事情		4			☐	☐	☐		
		アジアフィールドワーク1		4			☐	☐	☐	科	6単位以上 アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの（科目名番号の同じもの）をセットで履修すること。
		アジア社会演習1		4			☐	☐	☐		
		アジアフィールドワーク2		4			☐	☐	☐		
		アジア社会演習2		4			☐	☐	☐		
		アジアフィールドワーク3		4			☐	☐	☐		
		アジア社会演習3		4			☐	☐	☐		
		アジアフィールドワーク4		4			☐	☐	☐		
		アジア社会演習4		4			☐	☐	☐		
		国際特別演習		4			☐	☐	☐		大学が認めた留学生専用科目
		国際表現演習		4			☐	☐	☐		
		日本語のための古典1		2		☐	☐	☐	☐	科	
		日本語のための古典2		2		☐	☐	☐	☐	科	
		日本語学1		2		☐	☐	☐	☐	科	
		日本語学2		2		☐	☐	☐	☐	科	
		日本語学概説1		2		☐	☐	☐	☐	科	
		日本語学概説2		2		☐	☐	☐	☐	科	
		南・西南アジア諸語の世界1		2			☐	☐	☐		
		南・西南アジア諸語の世界2		2			☐	☐	☐		
		東南アジア諸語の世界1		2			☐	☐	☐		
		東南アジア諸語の世界2		2			☐	☐	☐		
		世界の諸言語と文化4(アジア諸語)		2			☐	☐	☐		

選択必修C

講義

韓国語・朝鮮語の世界		2				○	○	○	
国語学1		2				○	○	○	科
国語学2		2				○	○	○	科
国語学1(音声言語)		2				○	○	○	
国語学2(文章表現)		2				○	○	○	
応用日本語1		2				○	○	○	科
応用日本語2		2				○	○	○	科
国語学史		2					○	○	科
日本語教授法			2			○	○	○	
日本語教育演習1		2					○	○	
日本語教育演習2		2					○	○	
日本出版文化論		2				○	○	○	
電子出版入門		2					○	○	
デジタル・ヒューマニティーズ		2					○	○	
図書館・デジタルアーカイブ活用法		2					○	○	
アジア英語1		2					○	○	
アジア英語2		2					○	○	
アニメ文化論		2				○	○	○	
漫画文化論		2				○	○	○	
韓国から見た日本		2				○	○	○	
中国から見た日本		2				○	○	○	
イスラム社会と日本		2				○	○	○	
イスラーム世界と日本		2				○	○	○	
日本の伝統文化を発信する		2					○	○	
実習	日本語教育実習1		1					○	
	日本語教育実習2		1					○	
	イギリス文化講義			2		○	○	○	
	アメリカ文化講義			2		○	○	○	
	イギリス史			2		○	○	○	
	アメリカ史			2		○	○	○	
	英文学概論1			2		○	○	○	
	英文学概論2			2		○	○	○	
	米文学概論1			2		○	○	○	
	米文学概論2			2		○	○	○	
	英語学概論1			2		○	○	○	
	英語学概論2			2		○	○	○	
	英語学講義1			2		○	○	○	
	英語学講義2			2		○	○	○	
	英語音声学1			2		○	○	○	
	英語音声学2			2		○	○	○	
	情報科学各論1			2		○	○	○	
	情報科学各論2			2		○	○	○	
	言語情報処理概論1			2		○	○	○	
	言語情報処理概論2			2		○	○	○	
	ICTと英語研究			2		○	○	○	

選択	講義	ICTと英語教育			2		○	○	○	
		美学美術史1			2		○	○	○	
		美学美術史2			2		○	○	○	
		文化人類学			2			○	○	
		アジア経済論			2		○	○	○	
		オーストラリア経済論1			2		○	○	○	
		オーストラリア経済論2			2		○	○	○	
		オーストラリア産業論1			2		○	○	○	
		オーストラリア産業論2			2		○	○	○	
		韓国の文化と社会1			2		○	○	○	
		韓国の文化と社会2			2		○	○	○	
		現代韓国事情			2		○	○	○	
		社会学概論1			2		○	○	○	科
		社会学概論2			2		○	○	○	科
		哲学概論1			2		○	○	○	科
		哲学概論2			2		○	○	○	科
		日本経済史			2		○	○	○	
		外国経済史			2		○	○	○	
		経済地理1			2			○	○	
		経済地理2			2			○	○	
		中国語科教育研究1			2			○	○	職
		中国語科教育研究2			2			○	○	職
		国語科教育研究1			2			○	○	職
		国語科教育研究2			2			○	○	職
		教職ゼミⅠ			2		○	○	○	
		教職ゼミⅡ			2			○	○	
自由	講義	書道1			2		○	○	○	科
		書道2			2		○	○	○	科

教職課程に関する規程第3条第4項第8号に定める科目

附 則
この規程は、2019年4月1日から施行する。

規程等

**「学芸員資格取得に関する履修
規程」**

学芸員資格取得に関する履修規程一部改正(案)
(2018,2017年度入学生に適用する。)

(下線部は改正箇所)

第1条 (略)

第2条 (略)

	法定科目名及び最低修得 単位数	本学開講科目名及び単位数	配当年次	履修方法
必修科目	(略)			
選択科目	(略)			2分野以上に またがって8単 位以上選択
	生物学	生物学1	2	1年次以上
		生物学2	2	1年次以上
		生物学	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>
		自然科学概論	2	1年次以上

第3条 (略)

第4条 (略)

第5条 (略)

附 則

この規程は、2019年4月1日から施行する。

規程等

「レクリエーション・インストラクター の資格取得に関する規程」

【レクリエーション・インストラクターの資格取得に関する規程一部改正】
2018年度以前入学生に適用

第2条 前条の科目は、次のとおりとする。

協会が定める科目		本学開講科目	単位数	履修 方法	配当年次	備考
レクリエーション理論	2	余暇とレクリエーション	2	必修	1年以上	
レクリエーション実技	2	レクリエーション実技	1	必修	2年以上	
		余暇生活実習1	1	1科目	1年以上	ゴルフ
		余暇生活実習2	1	選択	1年以上	キャンプ
		余暇生活実習3	1	必修	1年以上	スキー
		ネイチャーアクティビティ1	1		1年以上	
		ネイチャーアクティビティ2	1		1年以上	
現場実習	1	レクリエーション実習	1	必修	2年以上	

附 則

この規程は、2019年4月1日から施行する。ただし、2019年3月31日以前の入学者及び2021年3月31日以前の編入学者に適用する。

規程等

「現代社会文化研究科規程」

【現代社会文化研究科規程一部変更】2017年度、2018年度入学生に適用する

新					旧				
別表Ⅰ（第8条関係） 授業科目及び単位数 1 大学院共通科目					別表Ⅰ（第8条関係） 授業科目及び単位数 1 大学院共通科目				
授業科目				単位数	授業科目				単位数
Academic English特論				4	Academic English特論				4
2 現代社会学専攻					2 現代社会学専攻				
種別	履修区分	授業科目	単位数	大学院進学希望者指定科目	種別	履修区分	授業科目	単位数	大学院進学希望者指定科目
乙類	選択必修	理論社会学研究	2	○	乙類	選択必修	(新設)	(新設)	(新設)
		家族社会学研究	2	○			(新設)	(新設)	(新設)
		市民社会研究	2	○			(新設)	(新設)	(新設)
		地域社会学研究	2	○			(新設)	(新設)	(新設)
		医療と社会研究	2	○			(新設)	(新設)	(新設)
		科学社会学研究	2	○			(新設)	(新設)	(新設)
		コミュニケーション論研究	2	○			(新設)	(新設)	(新設)
		消費社会論研究	2	○			(新設)	(新設)	(新設)
附 則 1. この規程は、2019年4月1日から施行する。									